

令和2年度第1回会議議事要旨
(令和2年6月29日開催)

令和3年3月

南 城 市

1. 報告事項(令和2年度第2回議事要旨、再編実施計画の変更、Nバス及びおでかけなんじいの利用状況)について

番号	委員	事務局
1-1	資料③に、おでかけなんじいは75歳以上の利用が増えているとのデータがあるが、どのような理由が考えられるか。(神谷委員)	75歳以上については、運賃を再編前の300円/回から、再編後は200円/回に値下げしたことが大きいと考えている。
1-2	おでかけなんじいの運行便数はあまり変わらずに、利用者数が8割ほどに減っているのは、1便あたりの利用者数が減少しているという理解で良いか(小橋川委員代理)	ご指摘の通り。
1-3	おでかけなんじいは観光客の利用が少なくなっているが、今後、観光客の利用を増やしていくのか。増やすのであれば令和2年度以降に取組として反映されるのか(照屋委員)	Nバスなどの新たなサービスを提供しており、斎場御嶽であればNバス1本で行けるようになっている。観光客についてはNバスのサービス充実、利用促進を考えており、おでかけなんじいはNバスを補完する役割となる。
1-4	路線バスの利用が厳しい状況であるが、Nバスでも利用が少ない路線はみられるか。(普久原委員)	乗降データをとっているが、不具合でデータが安定していない。(※現在、データの精査を行っている)

2. 令和2年度を取組について

番号	委員	事務局
2-1	観光客のアンケートが予定されているが、母数は確保できるのか。新型コロナの影響で交通の分担率も変わっていると思われ、評価に影響するのではないか。(小谷委員)	ご指摘のように新型コロナの影響で票数の確保が難しい状況が考えられる。調査実施については新型コロナの影響が落ち着いた頃に行うなどもう少し状況をみて見極めたい。アンケートについてもWEBを活用するなどといった方法を検討していきたい。
2-2	観光客アンケートは8~9月の予定となっているが、観光の現場の感覚からすると難しいと思う。(大城委員)	新型コロナの影響をみでの判断となるが、調査時期をずらすなどの対応も必要と考えている。
2-3	1日乗車券は導入済みであるが、資料の施策の実施予定は検討となっている。どのように考えればよいのか。(慶田委員)	施策の実施予定は、網計画に示している今年度の予定である。検討とあっても実施されている施策もある。
2-4	おでかけなんじいの導入でどのような変化があったかなどをアンケートで平均的に把握すると思うが、小さくても直接的な効果についてもヒアリング等で把握してほしい。(神谷委員)	個別の変化の把握については検討したい

3. おでかけなんじいの運行計画、生活交通確保維持改善計画について

番号	委員	事務局
3-1	新型コロナの影響等を考慮して11～1月のデータを利用しているとのことであるが、前年の11～1月の利用は年平均の利用と比べて多いのか、少ないのか確認が必要である。(神谷委員)	平成30年度は、年平均で82人/日の利用に対し、11～1月の利用は約80人/日となっており、年平均より若干少ない状況である。
3-2	地域公共交通確保維持計画について欠損額が3,900万ほどでているが、今後混乗化などの計画や混乗化以外に公共交通を維持していくための施策があるかどうか確認したい。(喜屋武委員)	地域公共交通確保維持計画は、Nバスではなく、おでかけなんじいを対象とした計画であり、混乗化などは検討していない。